



部会創立40周年 これからもおいしいトマトを作り続けます

輝くみらい人・仲間

津軽みらい農協 尾上トマト部会

プロフィール 部会員：36人
作付面積：4.3% (令和3年産)

●部会発足の目的・経緯

昭和53年の水田利用再編対策による水田転作が契機となり、農業の複合化や豊かな農業経営の確立を目指すため、昭和56年に尾上トマト部会が創立されました。当時は部会員が42名、作付面積は3畝の露地栽培で始まり、10畝当りの平均反収は3・75ト(令和2年度の平均反収は8・5ト)でした。

●トマトの高品質栽培に向けて行ったこと

これまで、約30年にわたり「桃太郎シリーズ」のみを作付けしてきましたが、近年の異常気象により栽培管理が難しくなりました。そこで、昨年は作付け品種を見直し、より高温時の着果性や肥大性に優れる「りんか」という品種を導入しました。品種を見直したことにより、トマトの品質・収量の向上に繋がりました。

●現在課題となっていること

近年、後継者不足やミニトマトへの転作が増えたことにより、部会員数は減少傾向にあります。今後はトマト作付け者を増やすため、農業を始めたい方にはトマトの魅力、複合経営を検討している方にはトマトは他の作物との複合経営が可能というメリットを伝え、新規作付け者の取り込みを図っていきたくと考えています。

●今後の目標について

高品質なトマトを栽培し続けるため、昨年から作付けが始まった「りんか」の栽培技術確立を目指します。また、収量の増収を目指し、部会員の所得向上へと繋げていきたいと考えています。

当部会は、消費者や市場関係機関の皆様に支えられ、今年で創立40周年を迎えることができました。これからも、先人たちの努力に敬意を表するとともに、これまで培ってきたトマト産地としての誇りを胸に、部会創立50年に向かって歩み続けたいと思います。